

授業科目 救急蘇生法演習

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	理学（3年）・作業（3年）・言語（3年）・義肢（3年）・健栄（4年）	
川上 心也 他		開講時期	前期	必修・選択	必修	
		単位数	1	時間数	30	
【概要・一般目標：GI0】 一般市民が行うことのできる応急救護の概念を理解し、CPR（心肺蘇生法）とAED（自動体外式除細動器）を組み合わせた応急救護法を実施できる。						
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 各疾患の救急対応法を理解できる。 2. 応急救護の概念や蘇生の連鎖、感染の予防について理解できる。 3. 気道、呼吸、循環の初期の評価について理解し、実施できる。 4. 気道の確保について理解し、実施できる。 5. 効果的なCPRを実施できる。 6. 病気やけがに応じた対処法を理解し、実施できる。 7. AEDとその使用方法を理解し、CPRと組み合わせて実施できる。 8. 応急救護法が必要な現場に遭遇した場合の対処法を説明できる。						
回数	授業計画・学習の主題				SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション					
2	スポーツ現場での救急対応				1	講義
3	精神科救急とその対応				1	講義
4	内科的救急対応（1）				1	講義
5	内科的救急対応（2）				1	講義
6	応急救護法とは				2	演習、担当：川上 心也 他
7	蘇生の連鎖と感染の予防				2	演習、担当：川上 心也 他
8	気道、呼吸、循環の初期の評価				3	演習、担当：川上 心也 他
9	気道の確保				4	演習、担当：川上 心也 他
10	CPR（心肺蘇生法）				5	演習、担当：川上 心也 他
11	病気やけがに応じた対処法				6	演習、担当：川上 心也 他
12	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（1）				7	演習、担当：川上 心也 他
13	AED（自動体外式除細動器）を用いた応急救護（2）				7	演習、担当：川上 心也 他
14	知識の確認				8	演習、担当：川上 心也 他
15	まとめ				8	演習、担当：川上 心也 他
【使用図書】		<書名>		<著者名>		<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)						
参考書		救急蘇生法の指針 市民用・解説編 改訂3版		日本救急医療財団心肺蘇生法 委員会（監修）		へるす出版 2006・1,260円
その他の資料						
【評価方法】 出席状況、授業態度、筆記試験で総合的に評価する。			【履修上の留意点】 30名程度のグループで行い、グループは前年度中に発表します。			